

北区の屯田防犯パトロール隊

道内初の全国協会表彰

安全講話など活動評価

【北区】少年非行抑止のため、地域の大人たちでつくる「札幌屯田防犯パトロール隊(通称・とんぼ隊)」(松井敦利隊長、六十五人)が六日、

東京で開かれた全国地域安全運動中央大会(全国防犯協会連合会など主催)で、道内で初めて功労ボランティア団体として表彰された。

同隊は昨年九月に発足し、赤いTシャツと真珠色のジャンパーの「制服」

を着た隊員たちが、青色回転灯を付けた車などで北区屯田地区を随時巡回している。隊員が経営するそば屋やすし屋では、出前の車にとんぼ隊のステッカーを張り、「見えるパトロール」を続けているほか、地元小学校で講話を行い、子供たちの防犯意識向上に協力するなど、積極的な活動が評価された。

式典で表彰状を受け取った松井隊長(四三)は「屯

田のみんなが家族みたい
に声を掛け合う地区にで



制服のTシャツを着て抱負を語る松井隊長。後ろは制服のジャンパー